



仕事と家庭が
両立できる
職場環境づくり



ワーク・ライフ・バランスに関する 優良取組事例集

平成27年度 女性活躍、ワーク・ライフ・バランス普及啓発事業

福島県

大沼林産工業株式会社

「チャレンジする意欲をバックアップする」人と物を作り出す企業

所在地: 福島県伊達市霊山町掛田字段居62-5

資本金: 2,000万円

業種: 建設・製材業

従業員: 22名(2015年4月現在)



❖仕事と生活の調和に取り組んだ背景や目的

地元の方に寄り添い、地域に密着した企業であり続けるために、近隣で災害が発生した際、従業員の帰宅や消防団活動への参加などを支援したいと考えました。各種休暇の取得について、従業員同士が理解し合い、制度を利用しやすい風土づくりが重要だと考えています。

地域の特性や従業員のライフワークに沿って必要な休暇の取得を認めています。実際に週単位での連休なども取得実績があり、従業員同士が協力し合う社内の風土が出来上がっています。

❖育児や介護に関する支援制度

育児と仕事のバランスを取ることは、企業と従業員双方の理解がないと難しくなります。社内での取り組みとして、小学生以下のお子さんがある場合の送迎や親の通院などに対し、従業員の勤務時間の繰り上げ繰り下げができる柔軟な勤務制度を整備しています。また、育児休暇や子の看護休暇など、年間で取得可能な付与日数についても就業規則の中に明記しています。家族の中に要介護者がいる場合も同様に休暇の取得を認めています。

❖女性の管理職への登用状況と登用のための取り組み

実際に、女性従業員が資格を取得し現場での経験を積むことで、現場管理者として携わっています。さらに、若い世代など新入社員が入った際の教育研修の講師を1週間に一度担当することで、自身の知識の復習やスキルアップにつなげています。

対応する業務の必要性から、従業員の安全に関する安全衛生講習会への参加や技術的な資格取得の部分など、掛かる費用は会社で全て負担しています。「人が育てば、企業も育つ」と、女性でも男性でも意欲があれば成長していけるよう、段階を踏んだ技術指導を含め、入社後のスキルアップをフォローする取り組みに力を入れています。

❖今後の取組み

資格の有無や年齢・性別を問わず、従業員として働く方に、良いモノが出来上がった際の喜びを通してモノづくりに対するやりがいを感じられるような「人づくり」をしていきたいと思っています。

主な取組み

- 資格取得に向けた講習会の受講
- 工程ごとに段階を踏んだ技術習得
- 従業員に対する週1回の技術指導
- 子の看護休暇制度(7日)
- 介護休業制度(100日)
- 育児休業制度取得回数の複数化
- 短時間勤務制度
- 資格取得に関する費用の全額負担

国や県の認定・認証取得・表彰等の状況

- 福島県次世代育成支援企業認証
「仕事と生活の調和」取得(平成21年度)
「子育て応援」取得(平成24年度)



活躍する 女性従業員の声

工事部
佐藤 奈那

初めは事務業務を担当していましたが、次第に現場の状況や専門的な言葉に興味を持ち、「実際に現場に行ってみたい!!」という気持ちになりました。社内の皆さんの協力もあり、現場を体験していく中で、仕事への責任感や資格取得への意欲が出てきました。実際に2級土木施工管理技士の資格を取得し、自分自身の成長にワクワクする気持ちと会社の成長にも貢献出来るということに嬉しさを感じています。